

令和7年度 音楽実技研修（箏） 実施要項

- 1 目的 箏の演奏法について専門的な知識や技術を習得するとともに、実際の授業における指導の工夫について理解を深め、我が国や郷土の伝統音楽に関する実践的な指導力の向上を図る。
- 2 対象 小・中学校（義務教育学校を含む）、高等学校、支援学校の教員
- 募集人数 20名

3 日時等

| 回 | 日時 | 主題等 | 講師等 |
|---|-------------------------|-----------------------------|----------------------------|
| 1 | 7月22日（火） 14:00～17:00 | 箏の演奏法の基礎 箏の指導の工夫 [実習] | 生田流箏曲松風会 代表（家元） 檜垣 修 |

- 4 会場 大阪府教育センター（大阪市住吉区苅田4丁目13番23号 電話06-6692-1882）

Osaka Metro 御堂筋線「あびこ」駅下車、東北東へ約700m
JR 阪和線「我孫子町」駅下車、東へ約1,400m
近鉄南大阪線「矢田」駅下車、西南西へ約1,700m

- 5 その他
- （1）受付は30分前から。
 - （2）来所時には、所属名・名前が入った名札を着用すること。
 - （3）大阪府教育センターに、自家用自動車・バイク等の駐車はできません。
 - （4）（受講決定後～当日）Plantで、事前連絡や課題等がないか確認すること。
- 6 担当室 高等学校教育推進室

令和7年度 音楽実技研修（箏） シラバス

3342

1 目的

箏の演奏法について専門的な知識や技術を習得するとともに、実際の授業における指導の工夫について理解を深め、我が国や郷土の伝統音楽に関する実践的な指導力の向上を図る。

2 大阪府教員等育成指標の対象項目

| OSAKA 教職 スタンダード | 共通の指標 | | | | | | | | | | | | | | |
|--------------------|-------|---|---|----|---|---|-----|---|---|----|----|----|----|----|----|
| | I | | | II | | | III | | | IV | | | V | | |
| | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 | 6 | 7 | 8 | 9 | 10 | 11 | 12 | 13 | 14 | 15 |
| 第4期 | | | | | | | | | | | | | | | |
| 第3期 | | | | | | | | | | ○ | ○ | ○ | | | |
| 第2期 | | | | | | | | | | ○ | ○ | ○ | | | |
| 第1期 | | | | | | | | | | ○ | ○ | ○ | | | |
| 第0期 | | | | | | | | | | | | | | | |

3 研修の主題とねらい等

| 回 | 主題 | ねらい | 内容 | 準備物・事前課題 |
|---|----------|-------------------------|---|---|
| 1 | 箏の演奏法の基礎 | 箏の基礎的な演奏法や縦譜の読譜力を身に付ける。 | 箏の管理や準備の方法について学ぶとともに、縦譜をもとに基礎的な演奏法を習得したうえで、複数の楽曲を演奏する。 | 準備物 自身の指のサイズに合う箏爪【生田流・角爪】 ※持参できない場合は、当日の貸出が可能です。 |
| | 箏の指導の工夫 | 箏の指導の在り方について理解を深める。 | 音楽を形づくっている要素を知覚・感受し、それらの働きに関わりについて考えることができる授業づくりに関して、指導する際の課題や指導方法を考える。 | |